

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 28 年度第 5 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

I. 日 時：平成 28 年 11 月 28 日(月) 15:00 から 17:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 参加者：浜委員長、根本委員、服部委員、西松委員、柴田委員、市川アドバイザー、岡部委員 (skype)
(事務局) 井端事務局長、野本 (記)

IV. 検討事項

今年度の研究講習会アンケートを確認し、来年度のセキュリティ対応や講習会運営の取り組みについて意見交換を行った。

(1) アンケートを通じた意見

- ・ 全体会では、セキュリティに関連する現状、インシデントの事例が希望されている。
- ・ 参加者にはベンチマークの結果から攻撃危機対応の現実感を持ってもらい、総合演習までのつながりにより対策・体制整備の必要性理解促進できたとの評価があった。
- ・ インシデント分析コースでは、センター職員の教育目的として、入門レベルの希望もあった。また、学内にどのように伝えたらよいのか、環境的な課題を心配している意見もあった。
- ・ 政策運営コースでは、CSIRT の必要性、経営層の対応への理解は深まり、他大学と情報共有できたが、具体的に大学に持ち帰り活用するものへの要望が感じられた。また、規模別にできないあるが対策設備の整備など、ディスカッションを通じて課題整理のまとめを行ってはどうか。
- ・ 総合演習では、ストーリー形式で進めることができ、CSIRT 構築、経営層の危機意識、経営層の意思決定などの必要性が理解された。ただし、参加者や参加大学には危機意識を持たせることができたが、その他の大学や対策できていない大学に対するサゼスションできる体制が必要ではないか。

(2) 今後の取り組みなどの意見

- ・ 委員会中心のセキュリティ対策集合知として、例えば簡単なセキュリティポリシーのひな型作成からはじめてはどうか。
- ・ 私立大学として、どのようにセキュリティ対策に貢献ができる人材を育てることができるのか。学生のインセンティブとしてサイバー警察など社会課題へ対応できるなど人材育成への関与を訴求できないか。
- ・ 学生のセキュリティリテラシーを向上する必要がある。教員からセンタにセキュリティ関連授業実施の希望もある。例えば e ラーニング用コンテンツとして提案できないか。
- ・ 他部門に対して活用できるような、研修で持って帰って使えるツールなどが演習で紹介できないか。例えば、センター以外の部門への啓蒙コンテンツなど用意できないか。
- ・ 講習会の内容としては、CSIRT など組織的な対応の紹介、ベンチマークの継続、持ち帰れるコンテンツの紹介、総合演習の継続を行ってはどうか。
- ・ 講習会企画運営をより充実するため委員増員を図りたく、各委員に適任者の紹介を求めた。

V. 次回のスケジュール

- ・ 1 月 20 日に運営委員会を開催し、次年度研究講習会の方向性、計画を継続検討する。